

令和 7 年 6 月 2 6 日

大河原地区教科用図書採択地区協議会

委員長 古積 裕一 殿

大河原地区教科用図書採択地区協議会

公聴会委員長 武田 則男

令和 8 年度使用教科用図書採択についての意見について（提出）

大河原地区教科用図書採択地区協議会公聴会設置要綱第 2 条の規定により、別添のとおり意見を提出いたします。

1 採択基準について

(学校教育法附則第9条の規定による一般図書)

- ・ 沢山ある教科用図書を調査するには、採択地区協議会が全てを担うことは困難であり、県が示した採択基準を活用することは現実的で有効であると考えます。また、採択基準が具体的に明記されていることも、公平・公正性の確保の観点からも重要であると考えます。
- ・ 採択基準と手続きについて、分かりやすく説明していただき、適切に行われていると感じました。県の採択基準に乗っ取り進められているので問題はないと思います。
- ・ 県で示された採択基準を踏まえ、各市町でも十分な審議がされていると感じました。流れや仕組みにも問題なく、公平・公正で統一性があると感じました。
- ・ 一般図書の採択基準は、文部科学省の学習指導要領や通知に基づき2市7町の教育委員会が地域の責任で定めています。決定までの手続きは、透明性の確保が重視されており、恣意的な採択を防ぐための工夫がなされていると感じました。
- ・ 県の示した採択基準に則して行われており、手続き上の問題なども見受けられないことから適切である。
- ・ 今まで教科書展示会にて「内容」「組織・配列」「学習と指導」「表現体裁」を確認する際、どのような基準で判断すればよいか曖昧だった。採択基準を詳しく知ることが出来たのでため、今後の教科書展示会で教科書を見るときに、基準と照らし合わせてみる事が出来る。
- ・ 採択基準は明確で公平・公正であり問題ないと思いました。
- ・ 採択基準及びその決定の過程、周知に至るまで、どれも公平・公正に行われていると考えます。
- ・ 一般図書の種類が豊富で、各児童生徒に合わせた体制が取れていると感じました。
- ・ 採択までの仕組みについて、資料をもとに丁寧な説明があり、手続き等について認識でき、公平・公正に採択事務がおこなわれているものと確認することが出来ました。
- ・ 教育関係者以外にも保護者が委員をしていることから、幅広い目線で審議をしていることに信頼性を感じました。教科書採択についての流れや内容を知らなかったが丁寧な説明で、とても分かりやすかった。
- ・ 特別支援教育の目標や目的を達成するために採択基準は吟味され、幅広い分野から選択が可能な基準になっていると感じました。
- ・ 保護者としても、参画出来ることがとわかり関心を持ちました。スケジュールがタイトであることや多くの意見を反映させるなど責任の重い内容と感じました。
- ・ 県が示す採択基準を採択地区協議会において検討した上で、市町の採択基準として準用することは妥当な流れだと考えます。教科用図書採択手続きを厳正に進めていくことは、市町単位では事務作業的にも大変な作業であり、協議会において各市町委員より異議がなければ問題ないと考えます。
- ・ 市町教育委員会で審議の上、県が示した採択基準を決定しているので、公平・公正性が保たれていると感じました。
- ・ 県から示されている4項目の採択基準を大河原地区の共同採択の基準として用いることは、各市町教育委員会での審議という正式な手続きを踏んでおり、県との整

合性を図る観点から、全く問題はないと考えます。また、その内容についても、学習指導要領や県の「学校教育の方針と重点」を踏まえることが示されており、公平性・公正性を保つという観点からも適切であると思います。

- ・ 県の方針に従い、教科書の採択について、子ども達が、学習しやすいように考慮された基準になっていて、採択基準が明確で適切だと感じました。また、文部科学省から示されている採択決定までの流れも適切であり、公平性は、しっかりと確保されていると思います。
- ・ 県の採択基準に則り、公平かつ公正な採択基準が4項目設けられていること、項目ごとに具体の基準がしっかり明記されていることから、適切であると認められる。

2 手続き・日程について

- ・ 採択から使用開始までには、需要数の確定と供給数の確保などが厳格に決定されている手続きを考えると、タイトな日程も仕方ないと考えます。この厳格さを維持することが公正・公正性の確保に繋がっていると考えます。
- ・ 採択されるまでの手続きの流れについては、日程も含め明確に資料で記されており、丁寧に進められていると感じました。教科書展示会については、知らない保護者が多いのが実情だと思いますので、周知について改善の余地があると思います。
- ・ 1回目と2回目の開催時期が近く専門的な知識が無いので、意見書へ記入する前の資料の読み込みや理解をするまでもう少し時間があれば良かったです。また、教科書展示会が行われていることを知らない保護者が多いと思うので、周知の方法をご検討していただければ、いろんな方からの御意見がいただけるのではないかと感じました。公平・公正に採択できるように慎重に手続きがされていると感じました。
- ・ 特別支援学校や特別支援学級における一般図書の採択では、公聴会や専門員会が複数回開催され、保護者や教職員の意見も反映される丁寧な仕組みが整備されており、透明性の高い精度となっていると感じました。
- ・ 教科書を採択するまでの手続きについては問題ないと考えられる。日程については文部科学省の通知（令和8年度使用教科書の採択事務処理について（6初教科第27号））により採択期限が定められているため手続きが非常にタイトな日程となっていることは致し方ない。
- ・ 採択地区協議会や採択希望資料の概要が分かると公平性や透明性が上がると思いました。学校では教育委員会から出された様式に従って記入した後の流れがいまいち分からないことがある。
- ・ 膨大な数の教科書を調査・評価していただき公聴会委員に負担が掛からないような仕組みは理解できますが、せっかく丁寧に作られた資料を読み込む期間が短いと思いました。
- ・ 手続きの流れに関しては、公聴会等の適切な場を設けていること等、特に問題はないと考えます。
- ・ 日々使っている教科書がどのように選ばれているか知ることが出来て良かったです。
- ・ 教科書展示会をしていることを今回初めて知った。より多くの方に周知してもらうために何か検討してみてはと思いました。昨年度も日程がタイトだと意見が数件あ

ったが、それは改善されないのだろうかと感じました。

- ・妥当であると思いました。
- ・文部科学省が示す教科書採択の方法に則り、大河原地区の採択の仕組みが作られてきており、広く国民の意見を反映できる仕組みが構築されていると感じる。専門員会による調査結果が公表され、加えて教科書展示会での意見書も反映された上で採択図書が決定する流れに問題はない。日程としても、守秘義務を保ちつつ審議を行うために必要な期間で設定されていると感じる。
- ・非常にタイトなスケジュールだと感じました。その中で委員の皆様や一般の方への公開と透明性をもって採択していると感じました。
- ・教科書採択までの手続きが、明確かつ適確で、情報を非公開で実施していることは、公正を保つ観点からも適切であると考えます。また、公聴会のメンバーも、学校関係者、保護者代表、行政の関係者など様々な観点から意見を聴取することは、公平性を保つ意味でも大変意義深いものであると思います。短期間での採択業務に携わる事務局の方々のご苦労に敬意を表します。
- ・教科書を採択するまでの手続きや、日程について、事務局の説明が丁寧で理解できる内容だと感じました。特に、この公聴会は、保護者もメンバーになっており、意見を広く取り入れられることから、より公平性が保たれていると思います。
- ・大河原地区教科用図書採択地区協議会の採択の仕組みについて、丁寧な説明に加え、公聴会要項P11の図に分かりやすく示されている。
- ・公聴会の会場で一般図書を手に取り、読むことができたのが良かった。

3 専門員会調査結果について

(学校教育法附則第9条の規定による一般図書)

- ・どの科目においても、比較的理解の早い児童、比較的理解に時間のかかる児童に対し、より適していてバランスがとれており、児童の実態に即した選択がしやすくなっていると考えます。
- ・絵本や図鑑において初版が1980年代というものが散見され、今の時代に適しているかという不安がありましたが、教科書展示会で実物を手にし、長年使用されてきた内容の確かさと必要に応じて改定がなされていることから、不安が払拭されました。
- ・各種目とも、比較的理解の早い生徒により適している教科用図書が多く選定されていますが、比較的理解に時間のかかる生徒により適している教科用図書の選定が少ないように感じました。
- ・初版が比較的新しいものが多いことにもあらわれていますが、内容が時代に即しており、生徒一人ひとりの自立と社会参加に向けた指導と支援に繋がると感じました。
- ・4つの観点から総合的に評価が行われ、調査資料は分かりやすく、詳細にまとめられていたと思います。丁寧な調査が行われていることが伝わる内容でした。
- ・細かく丁寧に分かりやすくまとめられていると思いました。音やイラストなどで興味関心を引く内容も支援を必要な児童生徒には受け入れやすいと感じました。文字も見やすい大きさ、字体であることも良い点だと思いました。日常の生活の中で必要な事柄が児童生徒に分かりやすく指導者側にも伝えやすい内容であると感じまし

た。4つの観点から、それぞれ工夫や配慮、ポイントについてわかりやすく簡潔にまとめられていました。AとB、◎と○など発達に応じてねらいや用途が対象児童生徒へ使用する指標になっていると思いました。たくさんある一般図書を細かく詳しく調査研究をしてくださり感謝致します。

- ・特別支援教育における一般図書の活用には、多様な学習者一人ひとりへの丁寧な配慮が求められることを改めて実感しました。今回調査・研究された図書の多さには驚かされるとともに、本資料の作成に至るまでの御尽力に深く敬意を表します。
- ・手続きの複雑さや日程がタイトなことは理解するが、専門員会で相当数の教科用図書を2日間で調査・研究し報告書まで提出していることについては十分な調査・研究が行われているか若干の疑問が残るため、専門員会の期間を十分に設けて調査・研究の充実と専門員の負担軽減を図ってほしい。
- ・限られた時間で詳細に比較してあり専門員の皆様には頭が下がります。特別支援の観点で教科書や一般図書を見ると一見同じように見えて異なる部分が多くあることを改めて感じました。
- ・141冊もの教科書すべてを4つの観点から調査されており、コンパクトに分かりやすく、とても良くまとめられた資料だと感じました。素晴らしい資料であった分だけ、専門員や事務局への負担が偏ってしまっていないのか不安を感じました。
- ・専門員における適切は観点を示していること、調査の内容もその特徴を細部にまで示していることから、十分な調査だと思います。
- ・採択基準が明確で適切だと思います。
- ・調査研究結果資料は、明確な視点のもと細部にわたり調査研究が行われ、具体的・明瞭な表現でまとめられていました。多様な個性をもつ子ども達対象の図書としての有効性や適切性が報告され、大いに参考になると思いました。
- ・身近な生活に関するものから、芸術や宇宙など様々な分野の内容があり、実物を見せていただいたが、カラフルな本や親しみやすい挿絵や写真があり、大人も楽しめる本がたくさんあった。調査員の方々が丁寧に選んでくれたので感じました。
- ・専門員の先生方には、短い期間での調査研究でご苦労も多いことと思いました。一般図書については、現場で児童生徒が使用している様子を見る機会がほとんど少なく、図書そのものを研究することがないと思います。そんな中で専門員の調査研究においては、先生方の現場での経験が大いに役立っていると推察されます。その上で、十分吟味された報告がなされていると感じました。
- ・支援の必要となる児童生徒にとって、大変理解しやすい書籍であると思います。
- ・小中学校ごとに、それぞれの図書を採択基準に沿って評価しており、資料として大変分かりやすくまとめられていた。想定する児童生徒の理解の程度に応じた評価は、現場の教員にとって選書の際に大いに役立つものと思われる。また、概要報告においては、これまで大切にしてきたことに加え、新たな工夫が加えられた図書についての評価が記述されており、専門員がしっかりと一冊一冊の図書と向き合いながら調査した様子が感じられた。この報告を蓄積しておくことは、教科用図書の変遷を追う上でも有用な資料となるのではないかと感じた。
- ・2日間で専門員の皆様がまとめた資料はとても貴重だと感じました。構成された

先生方には、日常の業務の中での作業に感謝申し上げます。

- ・まず、たった2日間で、小中合わせて130冊以上もの一般図書について、詳細な調査研究をしていただいた専門委員の皆様に敬意を表します。採択基準の4観点に沿って、細かく資料をまとめられている点と、どのレベルの児童生徒に合っているかも記号で表記されている点が素晴らしいと感じました。調査資料を見させていただき感じたことは、特別支援学級に在籍する児童生徒一人一人の特性に合わせた、多種多様な教材が用意されていることを改めて実感しました。
- ・膨大な内容の資料の中から、事細かに調査、検討していただいていることが分かり、専門員の先生たちに、感謝するとともに、分かりやすく調査研究がなされていることに、敬意を表します。
- ・児童の自立と社会参画を見据え、全97冊の豊富な図書から、各々の興味関心に合わせた図書で学習を進めることができると考える。

4 その他

- ・教科書が使用されるまでの流れとそれに関わる文部科学省、県教委、採択地区協議会、市町村教委の役割が明確に規定されていることによって、公平・公正性の確保が担保され、ひいては教科用図書の信頼に繋がっていると改めて感じました。課題としては、この「流れと役割」がまだ十分に知られていないように感じていますので、さらなる周知に期待しています。
- ・教科書採択について、資料と併せて説明していただき、公平・公正を第一に採択されていることが伝わりました。専門員会では、膨大な図書を丁寧に調査されていることが伝わり、委員の皆様の負担は大きかったのではないかと感じました。児童生徒にも教科書が手元に届くまで多くの人に関係していることを伝えることで、より教科書を大切に扱い、感謝の気持ちを持ちながら学習に取り組めるのではないかと思います。
- ・DVDが付いていることで、何度も見返せたり、本と照らし合わせて読み進められたり、なじみのあるキャラクターなどでその教科などへの入り方が気負うことなくできると感じました。一方で、音や光などがあることで教科書ではなく遊び道具になりすぎない工夫も必要だと思いました。初めて公聴会に参加し、日々使っている教科書が沢山の行程や沢山の方々の手で調査研究を経て選ばれて、児童生徒の下へ届けられていることを知ることができ、貴重な体験が出来ました。一冊の教科書にもたくさんの方の御尽力があって手元に届くことを改めて子どもへ伝えたいと思いました。
- ・教科書採択制度は、法的根拠に基づき、厳格かつ綿密な手続きが整備されており、透明性や公正性を確保するための多くの仕組みがこうじたれていると感じました。
- ・共同採択については、市町村の教育委員会の採択手続きにおける負担軽減や地域の一貫性が図られていることから、教員や児童生徒にとって良いことだと思います。事務局になる教育委員会は負担が大きく大変だと思いますが、今後も児童生徒のため適切な採択手続きをお願いいたします。
- ・教科書採択にあたり、公聴会があることを知らなかった。実際に教科書を使用する

児童生徒に教科書が手元に届くまでの流れやどんな人が関わっているかを知る機会が少ないのが残念である。教科書配布時に「大事に扱うように」という指導を行いたい。学校や教育委員会に勤めていないとピンとこない文言も多く出てくるので、初めて参加する方や教科書採択に関わりが少ない方々からするとイメージがつきづらいものもありそうだと感じました。短い期間の中で準備していただいた事務局の皆様、委員の皆様大変お疲れ様でした。

- ・ 普段使う教科書には、公平・公正な決まりの基、たくさんの人たちの手間と時間が注がれていることが今回初めて分かりました。ありがとうございました。
- ・ 公正を期すためのスケジュールがタイトになるのは理解しました。ただ、教科書展示会については自分も初めて知ったので、もっと周知が必要ではないかと感じました。
- ・ 教科書は学習の主たる教材であり、子ども達の学びに大きな役割を果たすものであると思います。子ども達の学びの充実に向け、調査・研究資料を活かし、子ども達の特性、発達段階を考慮し、採択していただきたいと思います。
- ・ 時代に合わせて、より良いものを提供するために多くの方々の研究や調査、意見を取り入れていることを初めて知りました。関わっていただいた方々に感謝したいと思います。
- ・ 採択された一般図書を教科書として使用している現場（学校）の様子を知りたいと思いました。（採択数等のデータ、活用方法等）
- ・ 今年度は、一般図書のみの採択であったが、小・中学校使用の採択年度は、事務局の計画立案、専門員の選定、調査研究、協議会の開催、公聴会の開催、展示会からの意見調整、採択図書の決定と、大変な事務作業量になることと思います。そうした年度に備え、公聴会委員や専門員の選定については前年度から2か年委嘱できるようにすることで、事務局の負担が減るとともに、委員の役目に対する理解度が高まり、より良い採択事務が執り行われるのではないかと思います。
- ・ 教科書採択まで沢山の方の関わりがあり、子ども達へより良い学びの機会が提供されると感じました、採択地区協議会の取組みを沢山の方々に知ってもらいたいと感じました。
- ・ 初めて公聴会に参加させていただきましたが、教科書採択の重要性に鑑み、公平性、公正性を担保するために幅広い視点からの意見を聴取していることがよく分かりました。それだけ教科書採択の重要性を改めて実感させられました。また、実際に一般図書を閲覧し、タッチペンを図にかざすだけで、ネイティブな発音を聴くことが出来る英語の教材など、子ども達の興味・関心を引くための、デジタル技術の進歩を改めて感じました。短期間で大量の図書を調査・研究いただいた専門員の皆様、教科書採択の膨大な事務に携わっていただいている事務局の皆様に改めて感謝いたします。
- ・ 2市7町による共同採択により、大河原管内の子ども達が、同じ教科書を使用することで、子ども達が学習する内容の共通及び統一性が図られることは、先生たちの指導についても、共通及び統一性が図られることになり、管内の子ども達の学力の向上につながると思います。また、初めて公聴会に参加して、実際に教科書が子ど

- も達の手が届くまでの流れを勉強できたのは、本当に貴重な体験になりました。
- 子ども達の手が届くまで、多くの人の思いが込められていることをしっかりと伝えていきたい。

以 上